

■ メディキャスター ユーザーインタビュー

アライクリニック(群馬県) 院長 新井 哲 医師

—メディキャスターにどのような効果を期待して導入されましたか。

患者さんに待ち時間を有効に使ってもらうためですね。人は動いている物に行くと見ますし、ディスプレイで患者さんのためになる情報をアニメーションのついたコンテンツで色々と放映できるのであれば、それは良いことかなと思って導入しました。

待っている時間に患者さんの知識が増えるということは、一人にかけられる診察時間を考えると、結局は患者さんにとっても医療機関にとっても大事なことだと思います。



—メディキャスターを導入後、患者さんからの質問は増えましたか。

患者さんからの質問は多岐にわたりますが、「待合室のテレビ画面で見たんですけど……」と診察時にご質問をいただくケースが多いことから、待ち時間にメディキャスターを見ていただけているんだという実感があります。

—治療や検査の件数についてはいかがでしょうか。

メディキャスターを見て医療情報に興味を持った患者さんからのご質問がきっかけで治療や検査に発展することがあり、感覚値として全体的に件数が底上げされたように感じています。

—他に、メディキャスターの効果として感じることはございますか。

不満がたまり易い待ち時間に、患者さんのためになる医療情報や患者さんが知りたいであろう情報を提供することは、待ち時間緩和の一助になっていると思います。それは、「(地上波)テレビを見たい」という声がないことや、メディキャスターで放映されている医療に関する質問があることから実感しています。



■ 新井 哲 医師 プロフィール

日本医師会認定産業医
日本医師会認定スポーツ医
群馬県警察検視警察医

【略歴】

1989年 埼玉医科大学卒業
1989年 日本医科大学第一病院 第二外科学教室入局
1990年 東急電鉄 東急病院 外科医師として勤務
1994年 医療法人 協和会